

## 《小橋 拓弥 Guitar》



2012 年洗足学園音楽大学ジャズコースに入学，2015 年小曽根真氏が率いる JFC All Star Big Band に参加，東京ジャズフェスティバルに出演する。

2016 年夏にバークリー音楽大学院に留学。自己の楽曲がアメリカの Unsigned Only Music Competiton にてセミファイナルリストに選ばれる。

NY でレコーディングしたアルバム「Imaginary Story」をレーベル Apollo Sounds にてリリース。

自身のバンド「Don kururi」21 年、東京、日本橋兜町の東京証券取引所主催イベント「Jazz EMP(Emerging Musicians Program)」に出演。サッポロシティジャズ PARK JAZZ LIVE CONTEST 2022 最優秀賞を受賞。

## 《小西 佑果 Bass》



石川県金沢市出身。国立音楽大学卒業。

菊地成孔クインテット、ミッケナナのメンバー。

10歳の時に金沢ジュニアジャズオーケストラ JAZZ-21 に入団し、エレキベースを始める。14歳の時にウッドベースに転向。高校卒業まで8年間在籍し、アメリカ、ベルギーへの二度の海外遠征に参加。現地のジャズバンドとの交流やジャズフェスティバルでの演奏経験を持つ。

16歳の時にベルギー王立音楽院主催のサマージャズキャンプに参加し、インプロビゼーションとアンサンブルについて学ぶ。

2022年11月に壺阪健登、高橋直希と1st single 「It Wasn't Over / ループ」を ReBorn Wood Label からデジタルリリース。

2022年に1st シングル「It Wasn't Over／ループ」をデジタルリリース。

最新プロジェクト”CRYPT CHROME”では2025年7月に2作連続でリリース。

## 《吉本 章紘 Sax》



サックス奏者

1980 年神戸生まれ、東京在住。12 歳でテナーサックスを始め、甲南中学ブラスバンド部にてジャズと出会う。

2003 年に渡米、Frank Tiberi, George Garzone, Joe Lovano の各氏に師事し、バークリー音楽大学 演奏科を 2006 年に卒業。

2010 年、自己のカルテット（吉本章紘, Aaron Choulai, 須川崇志, 石若駿）を結成し、アルバム『Blending Tone』（2012 年）『Moving Color』（2015 年）をリリース。2014 年 5 月、世界的ジャズシンガー Diane Schuur 氏のグループで高槻ジャズストリートに出演。

2018 年 4 月、ピアニスト "Billy Childs Quartet" のブルーノート東京公演（グラミー賞受賞記念コンサート）に 2 日間参加。同年、須川崇志とのデュオ即興演奏をライブ収録したアルバム『Oxymoron』をリリース。

2019 年、自身の作曲に焦点をあてたアルバム『Nostalgic Farm』を自主制作する。

2022 年には、即興演奏を全面に出したアルバム『64 charlesgate』を地底レコードよりリリースする。

2023 年より、新カルテット（吉本章紘, 遠藤ふみ, 須川崇志, 則武諒）を始動し、都内を中心に活動を展開。

現在は、自己のプロジェクトの他に、大西順子 Sextet、サキソフォビア、中村恵介 Humadope、森田真奈美 Big Band、黒田卓也 aTak Band、守屋純子 Orchestra、中森明菜 Band 等へも参加。演奏のみならず楽曲提供や編曲も手掛ける。

世界最大級の作曲コンペティション『International Songwriting Competition 2014』では、自作曲がファイナリストに選出。

## 《大村 亘 Drum》



ドラマー、タブラ奏者、作曲家

東京都生まれ。

アメリカとオーストラリアで育ち、現在も世界中の音楽家達と交流を深め続けている。  
毎年インドに出向き、タブラという北インドの伝統打楽器を研鑽中。Pandit Yogesh Samsi に師事。

2015 年には文化庁より新進芸術家海外研修員に選ばれる。

2017 年オーストラリア文化機構より日豪混合プロジェクト Orbiturtle が支援選定される。

2018 年にニューヨーク録音された Benign Strangers は同年米 Downbeat 誌のベストアルバムの 1 枚に選ばれる。同アルバムはグラミー賞にプリノミネート。

Mike Rivett, 佐藤浩一から成るユニット、『Bungalow』では 5 作品発表している。

2023,2024 年金沢市民芸術村アーティストインレジデンスを務める。

2025 年 1 月にリリースされた Davy Mooney との作品 The Word は米 Downbeat Jazz 誌から四つ星の評価を受ける。

今までに公演やレコーディングでアメリカ、オーストラリア、インド、香港、中国、台湾、韓国、ヨルダン、ルクセンブルグなどに招聘され幅広い活動域を展開し、独創的な音楽創りを試み続けている。